

授業科目(ナンバリング)		事前・事後指導(栄養)(QC401)		担当教員		松尾嘉代子、川野香織、乙須翼				
				担当形態		複数・オムニバス				
教員免許状取得のための選択の別	栄養教諭:必修		単位数	1単位	開講年次	4年	展開方法	講義	開設時期	集中
科目	教職に関する科目(栄養教育実習)									
各科目に含めることが必要な事項										
授業のねらい										アクティブラーニングの類型
<p>栄養教育実習に関する指導を通して、栄養教育実習の成果をより高めることを目標とする。事前指導では、栄養教育実習の意義や心構えを理解するとともに、栄養教育実習のための準備学習を通して、実習に向けた自己の課題の発見と意欲喚起を図る。事後指導では、実習事後レポートや実習校からの評価等をもとに指導を受けることで、栄養教育実習の成果と反省事項を確認し、教育者としての資質をより高めることを目標とする。</p>										④ ⑦
ホスピタリティを構成する能力	学生の授業における到達目標					評価手段・方法			評価比率	
専門力	栄養教育実習の意義や学校現場の状況を理解し、分かりやすい言葉で説明することができる。					<ul style="list-style-type: none"> ・受講者の発表 ・レポート 			20% 10%	
情報収集、分析力	学習指導案、板書計画、実習日誌の意義を理解した上で、適切に書くことができる。					<ul style="list-style-type: none"> ・レポート 			10%	
コミュニケーション力	<ul style="list-style-type: none"> ・意見交換会やディスカッションで自分の意見や考え等を、簡潔に分かりやすく述べることができる。 ・他者の話を適切な態度で傾聴することができる。 					<ul style="list-style-type: none"> ・受講者の発表 ・受講態度 			10% 10%	
協働・課題解決力	<ul style="list-style-type: none"> ・栄養教育実習に向けた自己の課題を発見することができる。 ・栄養教育実習での経験を振り返り、実習の成果や反省事項を説明することができる。 					<ul style="list-style-type: none"> ・受講者の発表 ・レポート 			10% 20%	
多様性理解力	生徒の多様性を理解した指導をすることができ、具体的にどのような指導をしたのかを適切に実習日誌に書くことができる。					<ul style="list-style-type: none"> ・レポート 			10%	
出席						受験要件				
合計						100%				
評価基準及び評価手段・方法の補足説明										
<p>「受講者の発表」を40%、「課題レポート」を50%、「受講態度」を10%の割合で評価する。 受講者の発表は、授業中の発言や質疑応答の内容で評価する。 栄養教育実習での学びを確認するために、栄養教育実習レポートを課し、事後指導で個別にフィードバックを行う。 受講態度は、授業中の態度や模擬授業での態度を評価し、授業内にフィードバックを行う。</p>										
授業の概要										
<p>事前指導としては、年度はじめの教職課程オリエンテーション、栄養教育実習前の人権学習や実習説明会を行い、事後指導については実習報告会を実施する。 この授業の標準的な1コマあたりの授業外学修時間は、180分とする。</p>										
教科書・参考書										
<p>教科書：特に指定しない。栄養教育実習の事前指導(教職課程オリエンテーション・人権学習・実習説明会)と事後指導(実習報告会)において、資料を配付する。</p> <p>参考書：別府 昭郎(監修)、寺崎 昌男、黒澤 英典(2009)『教育実習64の質問』学文社 指定図書：別府 昭郎(監修)、寺崎 昌男、黒澤 英典(2009)『教育実習64の質問』学文社</p>										
授業外における学修及び学生に期待すること										
何事も事前の綿密な準備と事後の整理・反省が、大きな成果に導くものである。栄養教育実習の事前・事後指導を通じて、学校教育について、深く考えてもらいたい。										

回	テーマ	授業の内容	予習・復習
1	栄養教育実習の意義・心構え ①	学校現場を熟知した方にゲストスピーカーとして来てもらい、教育実習の意義や心構えについての講話を聞き、それをもとにディスカッションをする。(松尾)	参考図書や教育実習関連の本を読んでおくこと。当日の講義の振り返りを各自行う。
2	人権講話	同和問題を中心とした講話をもとに、人権について考える。(乙須)	同和問題の本を読んでおくこと。当日の講義の振り返りを各自行う。
3	栄養教育実習の意義・心構え ②	教育実習担当教員より、教育実習の意義や心構えについての講話を聞き、教育実習に対する理解を深める。(松尾、川野)	教育実習関連の本を読んでおくこと。当日の講義の振り返りを各自行う。
4	模擬授業、学習指導案・実習日誌の書き方	授業研究会として、模擬授業を行う。その後、実際の学校現場で行われているような意見交換会をする。学習指導案、板書計画の作成法を再度確認する。また、実習日誌をつけることの意義を理解し、適切な記入方法を学ぶ。(松尾、川野、乙須)	学校栄養教育論で使用した教材を見直しておくこと。当日の講義の振り返りを各自行う。
5	栄養教育実習の意義・心構え ③	学校現場を熟知した方にゲストスピーカーとして来てもらい、教育実習の意義や心構えについての講話を聞き、それをもとにディスカッションをする。(松尾)	教育実習関連の本を読んでおくこと。当日の講義の振り返りを各自行う。
6	実習校訪問(準備指導)	事前の実習校訪問についての心得やその他の様々な必要事項について理解する。また実習校を訪問し、準備指導及びオリエンテーション指導を受ける。(松尾、川野、乙須)	実習校訪問に関する資料を見直してから、訪問すること。当日の指導の振り返りを各自行う。
7	実習状況の把握に基づく個別指導	実習日誌を基に実習状況の報告をすると共に、個別指導を受ける。(松尾、川野、乙須)	実習日誌を読み返し、実習報告の準備をしておくこと。当日の指導の振り返りを各自行う。
8	実習状況の把握に基づく全体指導	実習事後レポート及び実習校からの評価等をもとに全体指導を受ける。(松尾、川野、乙須)	実習事後レポートを読み返し、全体指導の準備をしておくこと。当日の指導の振り返りを各自行う。